



ふさの

編集・発行 与謝野町農業委員会 与謝野町加悦庁舎内 TEL 43-2191



子どもたちと“そば”の種まき (関連記事P2)

主なもくじ

- ☆子どもたちとそば作り…2
- ☆夢織りの郷の取組み…3
- ☆都会の消費者と交流
有害獣対策・里守犬…4
- ☆研修・視察
舞鶴市杉山地区…5
- ☆若手農業者表彰…6



都会の消費者と交流
(関連記事P4)



あいがもで米づくり
安田清農園で岩屋保育所園児

遊休農地
解消

子どもたちと“そば”作り

岩滝農業研究会

会長 三田 正弘

今、日本全土で農地の荒廃化が進み、農業関係者は対策に苦慮している。

当地区も同様遊休農地が増え、そこで少しでも遊休農地の解消になればと思い、我々研究会は男山地区子ども会と共同で、そば作りを計画し栽培を始めた。

種まき、8月末残暑厳しい日、前日の雨で畑地がぬかるんでいたが、子どもたちは全員裸足で種をまいてくれた。そして順調に成育し、秋11月刈り取り、生まれて初めて持つ鎌で危なっかしい手つきながら全員怪我も無く終了した。

消 地 消 自



そばの刈り取り



そば打ち

稲木干し、数日後脱穀、乾燥、製粉し、いよいよ12月そば打ち。粉まみれになりながら、こねて、延ばして、切つて、茹でて、ようやく出来上がり。

うどんのような、きしめんのようなそばになったが、自分たちで種から育てたそば、子どもたちみんなおいしそうに食べていた。

今は、店に行けば何でも手に入る時代ですが、自分たちで種をまき、刈り取り、そばを打つて、物作りの大変さを知り、いい経験になったと思う。

楽しそうに種まきや刈り取りをしている子どもたちを見て、この中から一人でも二人でもいいから農業に興味を持ってきて、将来農業の担い手になってくれたらと願うばかり。

遊休農地の解消は農業者だけでは困難。町民の皆様また各種団体の皆様方、いいお知恵がありましたらお近くの農業委員までご一報下さい。



おいしいね

障害者支援センター

夢織りの郷 の取組み

—がんばれ仲間と共に—

地産 自産

加工 敷地内の加工施設で、ダイコン・ウリ・キュウリなど漬物を漬けている。由良みかんを使ったオレンジジュース、ニンジン野菜ジュース、ドレッシング、ジャムなど外注もしながら品数を増やしている。



ねぎの出荷作業

生産 ハウス5棟で九条ネギの栽培、JA出荷で、市場や給食センターへ。給食センターのネギはすべて納めている。
露地で野菜作り、ナス・ジャガイモ・サツマイモなど自家消費。



ねぎの収穫



加工製品

販売 漬物はきちやりーな（峰山）、オレンジジュースは地元スーパーで販売している。今年の1月28日〜31日まで名古屋で、第7回丹後うまいもん市にも出品した。
他の事業として、パン工房（ひだまりの丘）、弁当販売（夢かご弁当）、その他いろいろな作業を班ごとに分担しながら仕事をされている。
たゆまぬ努力のなか、指導員・仲間たちの笑顔が印象に残る。



漬物作業

町農作業請負参考価格（税込）と町標準小作料のお知らせ

10a 当たり

区分	単位	与謝野町
荒起こし	10a	10,000円
切り替えし	10a	6,000円
代かき	10a	7,000円
田植え(苗別)	10a	7,000円
コンバイン刈	10a	24,000円
計		54,000円
乾燥・調製	60kg	2,500円

農地の区分 (田の部)	小作料の 標準額	物納換算 (210円/kg)	10a 当たり 基準収量
A 農地 平場	9,000円	42.8kg	米 505kg
B 農地 山間地・傾斜地	3,000円	14.2kg	米 485kg

※平成21年～平成23年度米に適用

※圃場の条件等により変動する場合があります

都会の消費者と交流

ビッグファーマー川 収穫祭

平成7年より始まった収穫祭が、野田川わーくばる前の田で、秋晴れの下にぎやかに行われた。十四回目となる。

京阪神から消費者の家族や町内の小学生が参加し、ビッグファーマー野田川（会長 才本隆一、農家数7戸）のスタッフや、家族そろつての稲刈り、餅つきに心地よい汗をかいていた。



親子で稲刈り



春の田植体験祭り



みんなで餅つき

有害獣対策



里守犬2号リン



里守犬1号ピー子 岩屋小学校田にて

捕獲・山すその伐採・牛の放牧・電気柵・地域ごと囲む柵の設置、いずれにしても完全には防げない。犬を飼うことは、飼い主責任を負わなくてはならない。保健所との協議を経て里守犬がスタートし、様々なデータを収集中。里守犬育成は、京都府地域力再生プロジェクト事業を活用した。今、特に鹿がすくく増えている。地球温暖化が原因なのか。山の環境の変化なのか。有害獣対策は本当に難しい。

農地の売買・転用等の許可件数及び面積（計画変更含まず） H20.4～H21.2許可分まで

	件数	面積(m ²)	説明
第3条申請	11	23,420.00	農地を農地として売買（賃借）する場合など
第4条申請	1	25.41	自分の農地を農地以外に転用する場合など
第5条申請	17	14,178.00	他人の農地を買ったり借りたりして農地以外のものに転用する場合など
形状変更申請	20	29,172.72	農地を効率よく利用するため田を埋め立てて畑や2枚田を1枚にする場合など
非農地証明	15	5,796.00	登記簿上農地でも現況が農地でないことの証明（但し山林化や宅地化等して10年以上経過していることが必要）

農業委員会研修

耕作放棄地解消先進地視察

舞鶴市杉山地区

香山 誠一（三河内）



区画割された市民農園
※舞鶴市のHPより引用

耕作放棄地が当地方においても拡大している。この問題に地域で取り組み、活性化に成功した舞鶴市杉山地区を「丹後地域農業委員会」で昨年11月研修に訪れた。

杉山地区は舞鶴市の東部山麓に位置し、標高400mの、近くには青葉山、松尾寺があり、自然環境に恵まれた、戸数14戸・人口60人余りの地区である。

高齢化と鳥獣被害で、耕作放棄地が、農地の3割に達していた。中山間直接支払い制度を契機に、まず「市民農園」を開設した。

平成17年には農園利用者と共に

NPO法人「名水の里杉山」を立ち上げ、名水を使用した地酒・純米吟醸「大杉」をつくり、都市住民との交流の中で、集落の維持と活性化を図っている。

近くの瀬崎地区では、農業生産法人「舞鶴ふるるファーム」が運営している、都会の家族が泊まって野菜作りができる「滞在型農園」がある。同法人は他に「農村レストランふるる」「ふるるマーケット」の運営や様々な体験教室を催されている。短い時間でしたが感動を受けた研修でした。



滞在型農園の様子
※ふるるファームのHPより引用

農業者年金に加入 しませんか

特徴とメリット

- 少子高齢化時代に強い積立方式（確定拠出型）の年金
- 保険料の額は自由（月額2万～6万7千円）に決められる
- 終身年金で80歳までの保障付き
- 保険料の全額社会保険料控除など税制面の優遇措置
- 認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助あり

農業者年金

は老後生活をはっきりサポートします。

加入手続き・詳しい内容につきましては、JA（農協）、農業委員会までお問い合わせください。



第一回京都市府若手
農業・漁業者表彰 受賞

番 ^{ばん} 晃 ^{あきら} さん 34歳 (明石)

東大阪市出身。近畿大学農学部卒業後、平成10年新規就農者研修生として、与謝野町滝「誠武農園」でハウス野菜栽培・流通・農業経営を学ばれた。

加悦の地の自然のすばらしさ、気さくで明るい人達に囲まれ、こんな町で研修できることに、誇りを感じられ、益々研修に励まれた。平成13年加悦町(当時)に定住

を決意、「結婚」そして「独立」。夫唱婦随で頑張つてこられ、今はハウス10棟で、夏場は万願寺とうがらし・ピーマン、冬場は、みず菜・きく菜・ほうれんそうの栽培。今後は露地野菜で種類を増やすことも検討中。今度の受賞が、さらなる農業・地域の発展の為に繋がるよう期待される。



「京都府農林水産フェスティバル2008」にて表彰式が行われました。写真は番さん一家

全国農業新聞

経営に役立つ・暮らしに役立つ

農業のことなら
農業新聞で!!

- お申込は 農業委員会事務局まで
- 購読料 月額600円(毎月4回発行)

許可申請書の受付締切は
毎月15日です

08年産米食味ランキングで、丹後産コシヒカリが見事2年連続で「特A」を受賞しました。

編集後記

はやいもので今年の7月で農業委員の任期満了、われわれ編集委員としての最終号。アメリカ力発金融恐慌、オバマ大統領の誕生とその政策、世界の革新のなか、農業で地域を守り活力をとりもどそう。お世話になりました。(有吉)



広報編集委員会

- | | | | | | | | | |
|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 委員 有吉 正 | 副委員 細井 秀治 | 委員 廣野 安樹 | 委員 井上 重晃 | 委員 野口 清一 | 委員 白数 重徳 | 委員 三田 正弘 | 委員 加畑 英明 | 委員 小長谷 清八 |
|---------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|

農業委員会事務局

TEL (077) 431-2191
(加悦庁舎内)